※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　新編生物基礎　（東京書籍）						
副教材等	改訂　ニューアチーブ　生物基礎　(東京書籍)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という３つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

２　学習の到達目標

(1) 身の回りの生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解することができる。
(2) 日常生活でみられる生物現象を科学的に考察し、自ら考えを導き出して考察し・表現することができる。
(3) 生物や生物現象についての基本的な概念や原理・原則を、日常生活で起こっている様々な事象と結び付けて関連付けることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。また、生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、考えを導き出すことができる。また、自らの考えを簡潔にわかりやすく表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関わりに関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物と遺伝子	生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー 遺伝現象とＤＮＡ 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成 生物と遺伝子に関する探究活動	a:生物や細胞の構造、遺伝現象の仕組みについて基本的知識を理解している。 b:生物や細胞の構造、遺伝現象の仕組みについて科学的に考察できる。 c:生物や細胞の構造、遺伝現象の仕組みと日常の様々な生命現象との関連付けを自ら行うことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り
2学期	生物の体内環境	体液とその働き 生体防御 体内環境の維持のしくみ 生物の体内環境の維持に関する探究活動	a：生物の体内環境調節の仕組みについて基本的知識を理解している。 b: 生物の体内環境調節の仕組みについて科学的に考察できる。 ｃ：生物の体内環境調節の仕組みと日常の様々な生命現象との関連付けを自ら行うことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り
3学期	生物の多様性と生態系	気候とバイオーム 植生と遷移 生態系と物質循環 生態系のバランス 生物の多様性と生態系に関する探究活動	a：気候とバイオーム、生態系のバランスについて基本的知識を理解している。 b: 気候とバイオーム、生態系のバランスについて科学的に考察できる。 ｃ：気候とバイオーム、生態系のバランスと日常生活との関連付けを自ら行うことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度